

4日 火曜

ペテロ I

2:11 愛する者たち、私は勧めます。あなたがたは旅人、寄留者なのですから、たましいに戦いを挑む肉の欲を避けなさい。

2:12 異邦人の中にあって立派にふるまいなさい。そうすれば、彼らがあなたがたを悪人呼ばわりしていても、あなたがたの立派な行いを目にして、神の訪れの日に神をあがめるようになります。

2:13 人が立てたすべての制度に、主のゆえに従いなさい。それが主権者である王であっても、

2:14 あるいは、悪を行う者を罰して善を行う者をほめるために、王から遣わされた総督であっても、従いなさい。

2:15 善を行って、愚かな者たちの無知な発言を封じることが、神のみこころだからです。

2:16 自由な者として、しかもその自由を悪の言い訳にせず、神のしもべとして従いなさい。

2:17 すべての人を敬い、兄弟たちを愛し、神を恐れ、王を敬いなさい。

2:18 しもべたちよ、敬意を込めて主人に従いなさい。善良で優しい主人だけでなく、意地悪な主人にも従いなさい。

2:19 もしだれかが不当な苦しみを受けながら、神の御前における良心のゆえに悲しみに耐えるなら、それは神に喜ばれることです。

2:20 罪を犯して打ちたたかれ、それを耐え忍んでも、何の誉れになるでしょう。しかし、善を行って苦しみを受け、それを耐え忍ぶなら、それは神の御前に喜ばれることです。

2:21 このためにこそ、あなたがたは召されました。キリストも、あなたがたのために苦しみを受け、その足跡に従うようにと、あなた



がたに模範を残された。

2:22 キリストは罪を犯したことがなく、その口には欺きもなかった。

2:23 ののしられても、ののしり返さず、苦しめられても、脅すことをせず、正しくさばかれる方にお任せになった。

2:24 キリストは自ら十字架の上で、私たちの罪をその身に負われた。それは、私たちが罪を離れ、義のために生きるため。その打ち傷のゆえに、あなたがたは癒やされた。

2:25 あなたがたは羊のようにさまよっていた。しかし今や、自分のたましいの牧者であり監督者である方のもとに帰った。

この世にいる期間は短いものです。ですからこの世の欲、または肉体から来る欲望に従い続けなければならないということはありません。がまんばかり続いて、耐えられるかと心配を覚えるときに思い出しましょう。

そのような勝利の思いで、主人に仕え、不当なことにも耐えてゆきましょう。しかもそれは、イエス様と同じ道ですから栄誉あることです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

